

奨学金案内

東京電機大学ではおおよそ3人に1人の学生が奨学金を利用しています。学生生活に必要な学費、教材費、住居費等に奨学金を上手に活用することによって充実したキャンパスライフが実現できます。また、家庭の経済的負担を軽減するとともに学業に安心して取り組める環境を整えることができます。

東京電機大学では
3人に1人
が奨学金を利用

2025年度 奨学生数 (参考)

	東京電機大学 独自奨学金	日本学生支援 機構奨学金 (貸与)	高等教育の 修学支援新制度 (給付)	民間団体 地方公共団体 奨学金	合 計
学 部	45名	2,402名	1,884名	34名	4,365名
大学院	272名	478名	—	13名	763名

奨学金の申請をするにあたって

1. ご自身の経済状況をよく確認しましょう

奨学金の申請をする前に、月々または年間どのくらいの奨学金が必要になるのかよく確認してから申請してください。

2. 案内は DENDAI-UNIPA で確認しましょう

奨学金に関する連絡（募集や手続案内）は DENDAI-UNIPA（学生ポータルサイト）で行います。募集から採用、奨学生終了時までこまめに確認し、重要な連絡事項を見落とさないように十分に注意してください。また、電話もしくは学籍番号メールでも連絡を行う場合がありますので、必ず確認するようにしてください。

なお、以下の学費納入時期にも留意してください。

- 前期：4月末（工学部第二部は6月10日）
- 後期：10月末（工学部第二部は11月10日）

3. 申請の準備はご自身で行いましょう

奨学金の給付または貸与を受けるのは「学生本人」です。書類の準備、作成等の各種手続きは学生自身で行ってください。書類提出時には窓口で記載事項について確認する場合があります。経済状況を含めて学生本人がよく理解したうえで準備を進めてください。

4. 手続期限は必ず厳守しましょう

各種手続きの日程を十分に確認し、書類に不備があった場合に備えてゆとりを持って書類の準備を行いましょう。期限を過ぎての手続きは一切できませんのでご注意ください。

5. 貸与型の奨学金には返還の義務があります

国の資金で貸与される日本学生支援機構奨学金をはじめ、貸与型の奨学金は貸与終了後に返還義務があります。返還するのは卒業後の自分自身であることを認識し、借りすぎにならないよう慎重に検討してください。

6. 家計急変等により学費支弁が困難な場合は相談しましょう

家計急変により、学費支弁が困難な場合には、早急にご相談ください。

各キャンパス
奨学金窓口

東京千住キャンパス 学生支援センター（学生厚生担当）▶2号館3階

埼玉鳩山キャンパス 理工学部事務部（学生厚生担当）▶本館1階

I 日本学生支援機構奨学金

文部科学省

日本学生支援機構



日本学生支援機構奨学金には『給付型』(学部生のみ)と『貸与型』があります。適宜制度変更などがございますので、詳細は文部科学省HP及び日本学生支援機構HPをご確認ください。

学部生【貸与型】		
	第一種奨学金	第二種奨学金
利子	無利子	有利子(上限 年利3%) ※「利率固定方式」又は「利率見直し方式」を選択 ※ 2026年1月現在の貸与利率 利率固定方式:2.512% 利率見直し方式:1.7% ※「利率見直し方式」の利率は概ね5年ごとに見直し ※貸与終了時の利率が適用されます
貸与月額	自宅通学	20,000円、30,000円、40,000円、54,000円から選択
	自宅外通学	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円から選択
学力基準	1年次	高校の成績評定平均値が3.5以上
	2～4年次	成績上位 1/3以内
家計基準 (※1)	給与所得(※2)	880万円
	給与所得以外(※3)	613万円
	(※1)家計基準は、家族の状況により異なります。(上記金額は、2025年度募集時における4人家族の場合の上限目安です) (※2)源泉徴収票の支払金額等で、給与所得控除前の収入金額 (※3)確定申告書等の売上(収入)金額から経費を差引いた税込営業利益等の所得金額	
貸与期間	4年(48ヶ月)を限度とした、最短修業年限の終期まで。 ただし、奨学生としての適正を失った場合は、奨学金が停止または廃止されることがあります。	
保証制度	人的保証:連帯保証人と保証人を選任する制度。連帯保証人は原則として父又は母。保証人は父母を除く4親等内の成年親族のうち、申込者本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に原則65歳未満の者。(おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等) 機関保証:連帯保証人及び保証人を選任せず、保証料を支払うことにより保証機関が連帯保証する制度。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。	
募集時期	4月及び9月 ただし、9月は日本学生支援機構の予算状況により募集自体が実施されない場合があります。	
奨学生数 ※2026年1月現在	1,311名	1,656名
貸与開始月	2026年4月～	2026年4月～9月で希望する月
初回振込	6月上旬(奨学金は4月分から遡って貸与されます)	

学部生【給付型】		
高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金)		
申込資格	<ul style="list-style-type: none"> 住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯(第Ⅰ区分～第Ⅲ区分) 世帯年収600万円程度の私立大学理工農系学部生(第Ⅳ区分) 【2025年度より対象拡大】扶養される子供が3人以上の多子世帯(所得制限なし) ※上記他、国籍や在留資格及び大学入学までの期間等の要件があります。 ※支援の対象となりうるかは、「進学資金シミュレーター」より、「給付奨学金シミュレーション(保護者の方向け)」をご確認ください。	日本学生支援機構 進学資金シミュレーター
給付月額	給付額は通学形態や世帯の所得金額等に応じて変わります。また1年に1回10月に給付額の見直しが行われます。	
給付月額	自宅通学	第Ⅰ区分 38,300円、第Ⅱ区分 25,600円、第Ⅲ区分 12,800円、第Ⅳ区分(多子世帯)9,600円、区分外(多子世帯)0円いずれか
	自宅外通学	第Ⅰ区分 75,800円、第Ⅱ区分 50,600円、第Ⅲ区分 25,300円、第Ⅳ区分(多子世帯)19,000円、区分外(多子世帯)0円いずれか
学力基準	以下のいずれかに該当する場合	
	1年次	①高校の成績評定平均値が3.5以上、②高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ③将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること
2～4年次	①GPA成績順位(累積)が学科・学系の学年別順位で上位1/2以上であること ②修得した単位が標準修得単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること	
給付期間	4年(48ヶ月)を限度とした、最短修業年限の終期まで。ただし、奨学生としての適正を失った場合は、奨学金が停止または廃止されることがあります。	
募集時期	4月及び9月 ただし、9月は日本学生支援機構の予算状況により、募集自体が実施されない場合があります。	
奨学生数 ※2026年1月現在	1,884名	
その他	※原則として、高等教育の修学支援新制度(授業料等減免)にも申込みが必要となります。高等教育の修学支援新制度(授業料等減免)の申込みについては、高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金)と併せてご案内いたします。 ※第一種奨学金(貸与型)を併用する場合は、貸与額が制限されます。 ※第Ⅳ区分(理工農系)、区分外(多子世帯)は給付奨学金の支援がなく、授業料等減免のみです。	

大学院生【貸与型】

	第一種奨学金		第二種奨学金
利子	無利子		有利子(上限 年利3%) ※「利率固定方式」又は「利率見直し方式」を選択 ※2026年1月現在の貸与利率 利率固定方式:2.512% 利率見直し方式:1.7% ※「利率見直し方式」の利率は概ね5年ごとに見直し ※貸与終了時の利率が適用されます。
貸与月額	修士課程	50,000円、88,000円から選択	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択
	博士課程(後期)	80,000円、122,000円から選択	
学力基準	修士課程	成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者	次のいずれかに該当する者。①成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
	博士課程(後期)	成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができる者と認められる者	次のいずれかに該当する者。①成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができる者と認められる者。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
家計基準 (※1)	修士課程	299万円	536万円
	博士課程(後期)	340万円	718万円
	(※1)収入は、「本人及び配偶者(配偶者は定職収入がある場合のみ)」の金額となります。 (上記金額は、2025年度募集時における配偶者がいない場合の上限目安です)		
貸与期間	修士課程2年(24ヶ月)、博士課程(後期)3年(36ヶ月)を限度とした、最短修業年限の終期まで。 ただし、奨学生としての適正を失った場合は、奨学金が停止または廃止されることがあります。		
保証制度	人的保証:連帯保証人と保証人を選任する制度。連帯保証人は原則として父又は母。保証人は父母を除く4親等内の成年親族のうち、申込者本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に原則65歳未満の者。(おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等) 機関保証:連帯保証人及び保証人を選任せず、保証料を支払うことにより保証機関が連帯保証する制度。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。		
募集時期	4月及び9月 ただし、9月は日本学生支援機構の予算状況により募集自体が実施されない場合があります。		
奨学生数 ※2026年1月現在	修士課程	455名	45名
	博士課程(後期)	15名	1名
貸与開始月	2026年4月～		2026年4月～9月で希望する月
初回振込	6月上旬(奨学金は4月分から遡って貸与されます)		

■大学院修士段階における授業料後払い制度【貸与型】

日本学生支援機構第一種奨学金の一形態で、在学中は授業料を納付せず、卒業後の所得等に応じて納付(後払い)できるという制度です。日本学生支援機構が授業料相当額の奨学金(支援対象授業料)を奨学生に貸与したものととして原則大学に振り込み、卒業後に、所得に応じて(大学ではなく)機構に返還していただくものです。授業料後払い制度では、授業料相当額の支援を含む「授業料支援金」と、在学中の生活費の支援である「生活費奨学金」の2つの支援を無利子で受けることができます。なお、生活費奨学金は、学校ではなく奨学生本人の口座に振り込みます。(「生活費奨学金」のみの貸与はできません。)

※「授業料後払い制度」を利用する場合、第一種奨学金を利用することはできません。

(現行の第一種奨学金との併用不可。第二種奨学金との併用は可能。)

授業料支援金	上限額:年間776,000円(授業料のみが対象で、入学金、受託諸会費は対象外)	
生活費奨学金	月額	0円、20,000円、40,000円から選択
保証制度	機関保証のみ(人的保証は選択不可)	
貸与終了後の返還方法	<ul style="list-style-type: none"> ・所得に応じて返還月額を決定(年収が300万円程度になるまでは毎月2,000円) ・返還者本人に子どもがいると、返還月額が減額 ・「特に優れた業績による返還免除制度」の申請可 	

■返還について(学部生・大学院生共通の手続き)

日本学生支援機構奨学金の貸与が終了後、最終貸与月の翌月から起算して7ヶ月目より返還が開始されます。返還は口座引落としとなりますので、貸与終了時の案内にしたがい、リレー口座(奨学金返還口座)を登録してください。返還年数は貸与総額によって期間が設けられています(最長20年)。詳細については、貸与終了時に大学から郵送される「返還のてびき」を参照してください。

II 東京電機大学独自奨学金

(支給額・採用実績は2025年度実績)

東京電機大学の独自奨学金には、『給付型』と『貸与型』があります。『貸与型』の奨学金に採用された場合、原則修了・卒業後5年間(無利子(ただし、延滞金制度あり)・繰り上げ返済可)で返済する義務があります。

学部【給付型】						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
特別奨学金	280,000円	<ul style="list-style-type: none"> 学部2～4年次生(過去に休学、留年したものは除く) 人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 【成績基準】 目安として、成績順位が上位20%以上の者 【家計基準】 (1) 給与所得者(源泉徴収支払額)841万円以下 (2) 上記以外(確定申告書等の所得金額)355万円以下	5月	7月	【選考】 書類選考 面接選考 (書類選考通過者のみ) 【支給方法】 口座振込	25名 【内訳】 工学部:8名 工学部第二部:2名 未来科学部:4名 システムデザイン工学部:3名 理工学部:8名
学生応急奨学金	50万円の範囲内で決定 他の給付奨学金を受給している場合、当該年度の学費納付額から、年度の奨学金給付総額を差し引いた金額を、応急奨学金の給付上限額50万円以内の範囲内で算出し、奨学金額を決定する	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者 人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 1年以内に家計急変*や被災があり、学費支弁が困難な者 学内外の奨学金(教育ローン等を含む)の貸与を受けており、アルバイトを行ってもなお学費工面が困難な学生 給付は在学期間中1回に限る *家計急変とは学費を支出している家計支持者が、疾病・死亡・失業等(定年退職・自己都合退職を除く)により、勤務ができない状態になった場合のことをいう 【成績基準】 目安として、成績順位で概ね上位25%以上の者	随時 (窓口にご相談ください)	随時	【選考】 書類選考 面接選考 【支給方法】 口座振込	1名 【内訳】 システムデザイン工学部:1名
学生サポート給付奨学金	250,000円	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者 1年以内に家計急変*や被災があり、学費支弁が困難な者 学内外の奨学金(教育ローン等を含む)の貸与を受けており、アルバイトを行ってもなお学費工面が困難な者 学内外の給付奨学金を受給していないこと 採用後、学生行事において、学生ボランティアスタッフとして協力することができる者 給付は同一年度に1回までとする *家計急変とは学費を支出している家計支持者が、疾病・死亡・失業等(定年退職・自己都合退職を除く)により、勤務ができない状態になった場合のことをいう 【成績基準】 直近の学期末までのGPAの成績が学科・学系で上位50%以上の者 【家計基準】 (1) 給与所得者(源泉徴収支払額)841万円以下 (2) 上記以外(確定申告書等の所得金額)355万円以下	年2回 (5月・9月)	7月下旬 11月下旬	【選考】 書類選考 面接選考 (書類選考通過者のみ) 【支給方法】 口座振込	1名 【内訳】 理工学部:1名

学部【貸与型】*卒業後5年間で返済(無利子(ただし延滞金制度あり)・繰り上げ返済可)						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
学生救済奨学金	該当学期(セメスター)の学費相当額	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者(卒業年次生優先) 主たる家計支持者の<u>経済的事由の急変</u>で、学費の支払いが困難な者 貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月)	5月 10月	【選考】 書類選考 【支給方法】 学費に奨学金を振り替える	2名 【内訳】 システムデザイン工学部:1名 理工学部:1名
学生支援奨学金	30万円の範囲で査定	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者(休学中の者、修学年限を超えた者は除く) 本学主催の海外語学研修への参加、および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする者 貸与は在学期間中1回に限る 	随時 (窓口にご相談ください)	随時	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	海外語学研修 4名 【内訳】 工学部第二部:1名 未来科学部:1名 システムデザイン工学部:1名 理工学部:1名 教育装置の購入 1名 【内訳】 工学部第二部:1名
校友会奨学金	1回に納入する学費等の相当額	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者(卒業年次生優先) 家庭の<u>経済的事由の急変</u>(家計支持者の退職、死亡等)により、学業継続が困難な者 貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月) (学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい)	6月 11月	【選考】 書類選考 校友会による選考 【支給方法】 現金にて手渡し	0名 (申請者なし)

*学生救済奨学金及び学生支援奨学金は、退学又は除籍等の理由で貸与奨学生の資格を取り消された場合、直ちに貸与された奨学金の全額を返済する必要があります。

入学前に申請できる奨学金【給付型】

名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
「エンジニアのたまご」奨学金 【出願時に申請が必要です】	年額350,000円 最長4年間継続可※	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本学工学部第二部以外の入学者 ■ 一般入試(前期)日程の得点率が75%以上の成績優秀な者 	前年度1月	6月	【選考】 左記「対象者欄」に記載のとおり 【支給方法】 口座振込	11名 工学部:2名 未来科学部:6名 システムデザイン工学部:2名 理工学部:1名

※各学年進級時に各学科・学系の GPA による成績順位で上位 50%以内を満たすこと

大学院(修士課程)進学【給付型】

名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
大学院進学特別奨学金	200,000円	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本学学部成績優秀者で、本学大学院修士課程に「学内推薦入試(A日程)※」にて大学院に進学する者のうち、各専攻で定める奨学生数に基づいた成績優秀者(原則、成績優秀者順に採用) ※「学内推薦入試」の基準・時期については入試センターにお問合せください 	大学院(修士課程)学内推薦入試(A日程)出願時に申請	7月	【選考】 左記「対象者欄」に記載のとおり 【支給方法】 大学院(修士課程)初年次の前期分の学費(第2回入学手続金)より本奨学金相当分を減免する	120名 【内訳】 工学部:44名 工学部第二部:4名 未来科学部:31名 システムデザイン工学部:11名 理工学部:30名

大学院(修士課程)進学【貸与型】* 修了後5年間で返済(無利子(ただし延滞金制度あり)・繰り上げ返済可)

名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
大学院進学貸与奨学金	第2回入学手続金のうち授業料相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学部在学者 ■ 本学大学院修士課程に「学内推薦入試」または「一般入試(前期)」にて大学院に進学する者 	大学院(修士課程)学内推薦入試または一般入試(前期)出願時に申請	6月10月	【選考】 書類選考 【支給方法】 大学院(修士課程)初年次の前期分授業料(第2回入学手続金)相当を貸与する	9名 【内訳】 工学部:4名 理工学部:5名

※大学院進学貸与奨学金は、退学又は除籍等の理由で貸与奨学生の資格を取り消された場合、直ちに貸与された奨学金の全額を返済する必要があります。

奨学金の活用例

学部4年生

学費納入期限
※学費は専攻・入学年度によって異なります

2月初旬 ◀ **入学手続金納入**
入学金・受託諸会費 + 修士1年次の前期授業料

卒業

修士1年次の前期授業料 **約50万円**

約9万円※ 大学院(修士課程)の入学金・受託諸会費
※参考: 2026年度入学者: 約9万円

大学院進学貸与奨学金 (P5参照)

約50万円 (修士1年次前期授業料分を貸与)
※家計基準なし ※本学博士課程(後期)修了者は返済免除

約20万円 大学院進学特別奨学金(給付)※ (P5参照)
各学科・学系の成績上位者より順次採用
※採用者が併せて「大学院進学貸与奨学金」を希望する場合は、20万円を差し引いた前期授業料分を貸与(=約30万円)

修士1年生

入学

10月末 ◀ **1年次後期学費**
修士1年次の後期授業料

修士1年次の後期授業料 **約50万円**

日本学生支援機構 (P3参照) **約105万円** (第1種 月額8.8万円の場合)

大学院貸与奨学金 約50万円 (P6参照) (年間授業料の1/2)

副手手当

※副手給与は週1コマ月額11,000円
※担当コマ数によって月額変動します

修士2年生

4月末 ◀ **2年次前期学費**
修士2年次の前期授業料 + 受託諸会費

10月末 ◀ **2年次後期学費**
修士2年次の後期授業料

修了

修士2年次の前期授業料 **約50万円** + 受託諸会費

修士2年次の後期授業料 **約50万円**

日本学生支援機構 (P3参照) **約105万円** (第1種 月額8.8万円の場合)

大学院貸与奨学金 約50万円 (P6参照) (年間授業料の1/2)

副手手当

※副手給与は週1コマ月額11,000円
※担当コマ数によって月額変動します

※優秀な学生は日本学生支援機構奨学金の**全額 or 半額**を返還免除

大学院【給付型】						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
特別奨学金 【博士課程(後期)のみ】	500,000円	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程(後期)在籍者 ■人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 ■在籍企業から学費援助を受けていない者、休学の予定がない者 	5月	7月	【選考】書類選考 【支給方法】口座振込	39名
東京電機大学 深井綾 女性研究者・ 技術者育成 特別奨学金	100,000円 (ただし、工学研究科 (修士課程)の社会人 コースに在籍している 女性学生への給付額は、 年額66,000円)	<ul style="list-style-type: none"> ■本学大学院に在学する女性学生 ■東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金の趣旨を理解している者 ■本学の大学行事(大学院進学相談会、オープンキャンパス、就職支援行事等)において、学生ボランティアスタッフとして協力できる者 ■後輩への大学院進学の意義の啓発及び奨学生間の活発な交流促進等に努めることができる者 	4月	7月	【選考】書類選考 面接選考 【支給方法】口座振込	99名
学生 サポート給付 奨学金	250,000円	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院在学者 ■1年以内に家計急変*や被災があり、学費支弁が困難な者 ■学内外の奨学金(教育ローン等を含む)の貸与を受けており、アルバイトを行ってもなお学費工面が困難な者 ■学内外の給付奨学金を受給していないこと ■採用後、学生行事において、学生ボランティアスタッフとして協力することができる者 ■給付は同一年度に1回までとする ※家計急変とは学費を支出している家計支持者が、疾病・死亡・失業等(定年退職・自己都合退職を除く)により、勤務ができない状態になった場合のことをいう 【家計基準】(1) 給与所得者(源泉徴収支払額) 841万円以下 (2) 上記以外(確定申告書等の所得金額) 355万円以下	年2回 (5月・9月)	7月下旬 11月下旬	【選考】書類選考 面接選考 (書類選考通過者のみ) 【支給方法】口座振込	0名 (申請者なし)
学生応急 奨学金	30万円の 範囲内で決定 他の給付奨学金を受給している場合、当該年度の学費納付額から、年度の奨学金給付総額を差し引いた金額を、応急奨学金の給付上限額30万円以内の範囲内で算出し、奨学金額を決定する	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院在学者 ■人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 ■1年以内に家計急変*や被災があり、学費支弁が困難な者 ■学内外の奨学金(教育ローン等を含む)の貸与を受けており、アルバイトを行ってもなお学費工面が困難な学生 ■給付は在学期間中1回に限る ※家計急変とは学費を支出している家計支持者が、疾病・死亡・失業等(定年退職・自己都合退職を除く)により、勤務ができない状態になった場合のことをいう 【成績基準】目安として、成績順位が概ね上位25%以上の者	随時 (窓口にご相談ください)	随時	【選考】書類選考 面接選考 【支給方法】口座振込	0名 (申請者なし)

大学院【貸与型】* 修了後5年間で返済(無利子(ただし延滞金制度あり)・繰り上げ返済可)						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
大学院 貸与奨学金	該当学期の 授業料相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程(後期)・修士課程在学者(休学中の者、修業年限を超えた者は除く) ■人物優秀で学業成績が優秀、かつ学費支弁が困難な者 	年2回 (4月・9月)	6月 11月	【選考】書類選考 【支給方法】口座振込	2名 【内訳】 工学部研究科:1名 先端科学技術研究科:1名
学生救済 奨学金	該当学期の 学費相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程(後期)・修士課程在学者(修了年次生優先) ■主たる家計支持者の経済的事由の急変で、学費の支払いが困難な者 ■貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月)	5月 10月	【選考】書類選考 【支給方法】学費に奨学金を振り替える	0名 (申請者なし)
学生支援 奨学金	30万円の 範囲で査定	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程(後期)・修士課程在学者(休学中の者、修業年限を超えた者は除く) ■本学主催の海外語学研修への参加、および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする者 ■貸与は在学期間中1回に限る 	随時 (窓口にご相談ください)	随時	【選考】書類選考 【支給方法】口座振込	2名 【内訳】 理工学研究科:1名 先端科学技術研究科:1名
校友会 奨学金	1回に納入する 学費等の相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程(後期)・修士課程在学者(卒業年次生優先) ■家庭の経済的事由の急変(家計支持者の退職、死亡等)により、学業継続が困難な者 ■貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月) (学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい)	6月 11月	【選考】書類選考 校友会による選考 【支給方法】現金にて手渡し	1名 【内訳】 理工学研究科:1名

※大学院貸与奨学金、学生救済奨学金及び学生支援奨学金は、退学又は除籍等の理由で貸与奨学生の資格を取り消された場合、直ちに貸与された奨学金の全額を返済する必要があります。

Ⅲ 民間・地方公共団体奨学金

(2025 年度実績)

民間団体および地方公共団体が行う奨学金には①貸与型 ②給付型 ③一部貸与型などの種類があり、大学を通して申請をするものと、大学を通さず申請者が直接申請するものがあります。

大学を通して申請する奨学金については、DENDAI-UNIPA（学生ポータルサイト）でお知らせします。

また、それ以外のものについては、学内の奨学金掲示板に掲載されます。地方公共団体による奨学金は、大学を通さずに募集される場合が多いため、出身の地方公共団体 HP などでお知らせください。

*以下、昨年度大学に募集のあった民間団体の給付型奨学金（大学を通じて応募するもの）を例示

以下は人数

民間団体奨学金【給付型】(採用があった団体のみ)								
奨学金団体名	対象学年 (学年指定がなければ全学年)	支給金額 (月額)	給付期間	対象	申請時期	申請	推薦	採用
種とまと財団	学部3～4年	80,000円	学部3:1年間 (学部4年分) 学部4:2年間 (修士1・2年分)	<ul style="list-style-type: none"> ■学業優秀、健康、品行方正で、学資の支弁が困難と認められる者 ※学部4年(または3年早期卒業者)は修士課程進学内定者 	前年度10月	1名	1名	1名
守谷育英会	学部 修士 博士	学部 140,000円 修士 170,000円 博士 170,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■東京都内の大学、大学院に在学、または東京都内に居住している者 ■学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者 	4月	11名	11名	2名
川本・森奨学財団	学部 修士	学部 25,000円 修士 30,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■学業優秀、品行方正で、経済的理由により学費の支弁が困難である者 	5月	1名	1名	1名
中村積善会	学部 修士 博士	50,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■優秀な学生で経済的理由によって修学の困難な者 ■留学生可 ■年齢制限あり ■年収基準は、学部・院生それぞれにあり 	4～5月	7名	2名	2名
日揮・実吉奨学会	学部 修士 博士	年額 400,000円	1年	<ul style="list-style-type: none"> ■人物・学力に優れ、健康であり、経済的理由のため就学が困難な者 ■年齢制限あり ■日本国籍を有する者 	5月	1名	1名	1名
大森昌三記念財団	学部2～4年 修士 博士	30,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■人物・学力に優れ、健康であり、経済的理由のため就学が困難な者 ■年齢制限あり 	5月	3名	3名	1名
オーディオテクニカ奨学金	学部2～4年 修士	30,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■東京都内の大学、大学院で理工学を学ぶ者 ■健康でかつ学業の成績が優秀な者 ■学費の支弁が困難である者 	4月	1名	1名	1名
井門奨学財団	学部2～4年	30,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■人物・学力に優れ、健康であり、経済的理由のため就学が困難な者 ■主たる生計維持者の年間の給与収入が700万円未満(給与所得以外の場合には、年間の所得が300万円未満)であること 	6月	1名	1名	1名
林レオロジー記念財団	学部2～4年 修士1	学部 30,000円 修士 50,000円	最短 修業年限	<ul style="list-style-type: none"> ■健康でかつ学業の成績が優秀な者 ■学費の支弁が困難である者 	10月	3名	3名	1名
大成温調奨学財団	学部2～4年 修士 博士	100,000円	2年間	<ul style="list-style-type: none"> ■現在、学業継続が困難であるなど修学のための経済的援助を必要とする者 ■学業(GPAが3.0以上)、人物ともに優秀であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 	4月	1名	1名	1名

※最新の情報は必ず UNIPA と紙掲示板で確認してください。

IV 学外機関の教育ローン(参考)

(1) 国の教育ローン

国の機関である日本政策金融公庫が取り扱う融資制度で、市中銀行よりも低い金利で融資が受けられる場合があります(年利3.15%:2026年1月時点)。詳細は以下に直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター

 **0570-008656** (月曜日～金曜日 9:00～19:00)

日本政策金融公庫「国の教育ローン」ホームページ

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

(2) 提携教育ローン

株式会社オリエントコーポレーションと本学の提携教育ローンです(年利4.70%:2026年1月時点)。詳細は以下に直接お問い合わせください。

株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク

 **0120-517-325** (お問い合わせ時間 9:30～17:30)

V 学費

	昼間学部 (工学部、未来科学部、システムデザイン工学部、理工学部)		夜間学部 (工学部第二部)	
	前期	後期	前期	後期
学費	約70万円	約70万円	約15万円 + 13,400円×履修単位数	約15万円 + 13,400円×履修単位数
振り込み期日	4月末	10月末	6月10日	11月10日

	大学院	
	前期	後期
学費	約50万円	約50万円
振り込み期日	4月末	10月末

VI ホームページ

● 本学の奨学金 ホームページ

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/scholarship.html>



● 文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougakukin/main.htm



● 日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shougakukin/index.html>

